

# 平成二十七年年度事業報告

## 1、教化研究会議

### 〔一〕第四十八回中央教化研究会議

期 日 平成二十七年九月九日(水)～十日(木)

会 場 日蓮宗務院

参加人数 一二九名

資料展示 教区教研や教化センターが作成・発行した教化資料・発行物の展示を実施。

テーマ 石橋湛山とその時代―戦後七十年、立正

安国の教化を考える―

開催趣旨(開催要綱原文のまま)

本年、平成二十七年は戦後七十年を迎えます。

また八月に内閣総理大臣が発表する、いわゆる首相

談話への関心が、国の内外で高まっています。

さらに、多くのメディアで、戦後七十年をテーマに様々な企画が進行しています。

一方、宗内に目を向けますと、第一〇九定期宗

会での施政方針挨拶の中で、小林順光宗務総長は、戦後七十年についてふれ、その中で本年八月十五日には日蓮宗管長・内野日総猊下御導師による千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要が厳修されることを述べられました。また、小林総長導師のもと、広島原爆死没者追善供養並世界立正平和祈願法要が執り行われる予定です。

戦後七十年を迎え、戦争を間接的にしか知り得ない国民が多くを占める今、あらためて戦争と平和について考える時がきていると思われまます。

本年の中央教研は、我々がこの戦後七十年を考える上で、第五十五代内閣総理大臣に就任した石橋湛山をとりあげます。氏は、身延山久遠寺第八十一代法主となった杉田日布の長男として生まれ、戦前はジャーナリストとして、また、戦後には第十六代立正大学学長等の役職を務められました。

その言論や行動の中に、日蓮聖人から受けた影響をうかがうことが出来ます。そこで氏の思想、行動や信仰について学び、今後の我々がいかに立正安国の教化をしていくべきかを考える教研会議としたいと考えます。

そこで、まず、現宗研所長三原正資が基調報告として、「三大誓願に生きる 石橋湛山の信仰」と題して信仰面からのアプローチを行い、また基調講演として、湛山研究者である立正大学法学部教授早川誠氏に「石橋湛山 平和の願いと行動」と題し、ジャーナリスト、政治家としての湛山の姿をご講演頂いた上で、四つの分科会に分かれて多角的な観点からの問題提起と討議を行い、テーマ「石橋湛山とその時代」としてまとめ、宗祖降誕八〇〇年に向け、参加者が自身の信仰を確認する場として頂きたいと考えます。

また、締め括りに、日蓮宗新聞（平成二十六年八月十日号）に「（自身が）生かされていること」の使命とは戦争の悲惨さを伝え、戦友や戦没者の

供養を続けることだ。」と、自らの従軍経験の一端を述べられた、大本山妙顕寺貫首三田村日正師による「生かされている使命」と題する記念講演をして頂き、結びとします。

#### 開催方式

①基調報告「三大誓願に生きる 石橋湛山の信仰」

三原正資（日蓮宗現代宗教研所所長）

②基調講演「石橋湛山 平和への願いと行動」

早川誠（立正大学法学部教授）

③基調報告、基調講演を問題提起として、テーマに関連した左記の四分科会を開催します。

I 現代教化学部門「1」

石橋湛山に学ぶ日蓮的精神

II 現代教化学部門「2」

今、石橋湛山への希求に応えるために

III 現代教団部門「1」

湛山の「豊かさ」と戦後七十年―新たな格

差の中で―

IV 現代教団部門「2」

法華経に生きた人たち―石橋湛山と石原莞爾

―  
で

熊本県 ANAクラウンプラザホテルにて開催

テーマ「いのちに合掌・激変していく社会の中

基調講演「寺院を取り巻く環境とその対策」

鈴木孝明氏（有限会社責任監査法人ト

ーマツ地域金融活性化推進室）

佐藤泰之氏（大和証券株式会社営業サ

ポート副部長）

3分科会

第1分科会「少子高齢化に伴う社会変化への対

応」

第2分科会「変化する親子関係への対応」

第3分科会「三十年後の寺院と宗門をデザインす

る」

全体会議

●第三十九回中四国教区教化研究会議

平成二十七年六月十五日～十六日

山口県 ホテルニュータナカにて開催

テーマ「葬式仏教について」

④全体会議で四分科会の報告を聞き、テーマ「石橋湛山とその時代―戦後七十年、立正安国の教化を考える―」にまとめます。

⑤記念講演「生かされている使命」

三田村日正（大本山妙顕寺貫首）

⑥各教区教研会議報告書や討議資料、管区並びに教化センターで作成された教箋等の教化資料を

展示し、教化情報のコーナーで宣伝します。各

寺院教会結社や個人有志で発行のものは、各管

区（教化センター）に委託してください。

参加者

教区教研運営委員、或いは内容に関心がある教師。

【2】教区教化研究会議

十一教区にて開催。日時・テーマは次の通り。

●第三十五回九州教区教化研究会議

平成二十七年六月十一日～十二日

基調講演「法華経に基づく葬儀の意義」

鈴木隆泰師（東京都善應院住職・山口

県立大学教授）

3分散会

全体会議

●第三十九回北海道教区教化研究会議

平成二十七年八月二十六日 北海道西部

札幌プリンスホテル国際館パミールにて開催

テーマ「有縁の未信徒へのアプローチ」

基調講演「通夜・法事の説教の実践と注意事項」

久富慈順師（北海道妙法寺住職・北海

道東部布教師会長）

水谷寛斎師（北海道静光寺住職・北海

道西部布教師会長）

中村啓承師（北海道長遠寺住職・北海

道北部布教師会長）

山本光明師（北海道龍王寺住職・北海

道南部布教師会長）

3分散会

全体会議

●第三十二回北陸教区教化研究会議

平成二十七年九月二十九日

新潟県北部 国際佐渡観光ホテル八幡館にて開催

テーマ「日蓮系新宗教について」

基調講演「日蓮系新宗教の動向と対策―龍口法難

七五〇を控えて―」

大埜慈誠師（神奈川県葉王寺住職・N

PO法人全日本青少年育成協会理事

長）

2分科会

第1分科会「顕正会は間違っているのか」

第2分科会「もし自分のお寺に顕正会員が来たら

―対応の仕方を考える―」

全体会議

●第四十五回近畿教区教化研究会議

平成二十七年十月七日

兵庫県西部 姫路商工会議所にて開催

テーマ「葬式仏教」は間違いか―原典で実証さ

れる正当性―

基調講演 「「葬式仏教」は間違いか―原典で実証

される正当性―

鈴木隆泰師（東京都善應院住職・山口

県立大学教授）

4 分散会

全体会議

● 第三十三回東北教区教化研究会議

平成二十七年十月八日～九日

岩手県 ホテルシティプラザ北上にて開催

テーマ 「日蓮聖人御降誕八〇〇年に向けて～現代

社会での教化・方法と実践～

基調講演 「日蓮聖人御降誕八〇〇年に向けて―現

代社会での教化・方法と実践―

松井大英師（静岡県了仙寺住職・宗門

運動本部企画推進会議委員）

3 分科会

第1分科会 「これからの檀信徒への教化とその実

践について」

第2分科会 「現代の未信徒への教化方法とその実

践について」

第3分科会 「好印象派へのアプローチとその実践、

そして教化から教化へ」

全体会議

● 第三十九回中部教区教化研究会議

平成二十七年十月三十日

愛知県尾張 ホテルプラザ勝川にて開催

テーマ 「戦後七十年・立正安国の教化を考える―

石橋湛山の日蓮的精神に学ぶ―

基調講演 「戦後七十年・日蓮宗の教化を考える―

石橋湛山の信仰と行動―

三原正資師（広島県妙長寺住職・日蓮

宗現代宗教研究所長）

3 分散会

全体会議

● 第四十回山静教区教化研究会議

平成二十七年十二月十日 静岡県東部

サントムーン柿田川シネマ棟にて開催

テーマ「戦争・平和・家族」

映画上映「杉原千畝」

パネルディスカッション

パネラー 森久寿隆師（静岡県本成寺住職）

貫名英舜師（静岡県常泉寺住職）

杉本蓮修師（静岡県寶珠寺住職）

小澤恵修師（山梨県本郷寺住職）

●第三十三回千葉教区教化研究会議

平成二十八年二月二十五日

千葉県南部 大本山清澄寺研修会館にて開催

テーマ「現代の寺院と僧侶のあるべき姿を考える

～今人々が求めていること、私たちがす

べきことは何か？～

基調講演「現代に即応した教化のあり方を考える

～これからのお寺 必須条件五か条

～

井出悦郎氏（未来の住職塾講師）

基調講演「現代に即応した教化のあり方を考える

～みんなで、お坊さん」を問い直そう

～

松村和順氏（株）百人組代表取締役

社長・寺子ブツダプロデューサー）

事例検討ワークショップ

●第二十二回北関東教区教化研究会議

平成二十八年三月三日

群馬県 メトロポリタンホテル高崎にて開催

テーマ「僧侶として発達障害の子にいかに関わり添

うか

基調講演「このころの科学：今、求められているも

の～このころのバランス～」

竹内一夫氏（群馬大学健康支援総合セ

ンター教授）

3分散会

全体会議

●第四十回京浜教区教化研究会議

平成二十八年三月四日

東京都東部 第一ホテル両国にて開催

テーマ「信仰の過疎を考える」

基調講演「信仰の過疎―その現況」

石井研士氏（國學院大学神道文化学部

教授・同大学副学長）

基調講演「信仰の過疎―何をなすべきか」

松本紹圭氏（浄土真宗本願寺派光明寺

僧侶・武蔵野大学客員准教授）

ワークシヨップ

### 【3】 研究集会

● 千葉県西部教化学研究集会

平成二十七年十二月四日

千葉県西部 いすみ市法護胤教会にて開催

テーマ「より良い布教方法の模索」

講演「より良い布教方法の模索」 「盛り上がる会

議運営のコツ」 体験講座」

関 宏倫師（東京都北部坂本教会副担任）

ワークシヨップ

● 福井県北部教化学研究集会

平成二十八年二月二十日

福井県北部 福井市妙長寺にて開催

テーマ「エイジングノートについて」

講演「エイジングノートについて」

久住謙昭師（神奈川県第一部妙法寺住職）

ディスカッション「終活とエイジングノート」

久住謙昭師

森 恵司師（福井県北部圓壽寺住職）

山内是淳師（福井県北部妙長寺修徒）

## 2、研究・調査活動

【1】 下記の各プロジェクトチームにおいて、それぞれ

研究・調査を進めた。

● 現代教化学部門

〈古河良啓・岩田親静・蓮見高円・藤崎善隆・小瀬

修達・川口智徳・吉木祥介・マコーミック龍英各

研究員、灘上智生・伊藤康裕・馬島浄圭・柴田章

延・梅森寛誠各嘱託）

① 現代教化学研究（「お題目の違い」ブックレッ

ト、興門系教団教学）

② 科学と宗教（生命倫理、原発、環境等）

③ 海外宗教研究

●現代教団部門

〈小林康洋・鈴木是妙・池浦英晃・河崎俊宏・津幡法胤・鶏内泰寛・延本妙泉・山口功倫・齋藤宣裕・原一彰各研究員、坂輪宣政・山田孝行・馬渡竜彦・石原顕正・野村佳正・中村龍央・松田英秀・成田東吾各囑託〉

①社会と宗教（人権・家族・貧困）

②社会と寺院（人口減少・過疎地寺院・防災）

③日蓮宗近現代史（日蓮宗アーカイブズ）

④I T（中央教化センター機能・相互ウェブ会議・現宗研HP）

●人口減少P T

（岩田親静・池浦英晃・原一彰各研究員、灘上智生囑託）

●墓地使用約款特別P T

（古河良啓・藤崎善隆・小林康洋各研究員、馬渡竜彦囑託）

●教研会議と教化センター

（蓮見高円・小瀬修達・河崎俊宏・川口智徳・鶏内

泰寛・山口功倫各研究員、灘上智生・伊藤康裕・石原顕正・野村佳正・中村龍央・松田英秀・柴田章延・梅森寛誠各囑託）

●研究例会

（古河良啓・岩田親静・蓮見高円・藤崎善隆・小林康洋・鈴木是妙・池浦英晃・小瀬修達・河崎俊宏・津幡法胤・川口智徳・鶏内泰寛・吉木祥介・延本妙泉・山口功倫・齋藤宣裕・原一彰各研究員）

●顧問会

（田澤元泰・蓑輪顕量・星光諭・石川浩徳・中村潤一各顧問）

【2】公開研究会を開催した。

●平成二十八年一月二十七日、第十六回日蓮宗教化学研究発表大会を宗務院に於いて開催した。

「鬼子母神研究に関する一考察―傍観者から当事者へ―」 中井本峯師（栃木県正法寺修徒）

「法華経とノーベル賞の邂逅」

三谷祥祐師（大阪府観世音寺住職）

「国連NTP再検討会議」現代の社会教化一考」

河崎俊宏師（石川県妙相寺住職・現宗研研究员）

「日蓮宗と呪術」

柴田章延師（広島県妙正寺住職・現宗研嘱託）

「台湾佛教を支える信仰者たち」

石原顕正師（山梨県立本寺住職・現宗研嘱託）

「北海道における通夜説教の実状」

本間文裕師（北海道妙蓮寺住職）

「お題目結縁運動 相手に応じた対応を」

片桐要重師（新潟県法華寺住職）

「東日本大震災における福島県の現状と今後の課題」

小林智英師（福島県大寶寺住職・福島県宗務所長）

所長）

特別発表「戦後日本の宗教者平和運動を再考する」

大谷栄一氏（佛教大学社会学部准教授）

### 【3】研究例会

● 研究员が各自のテーマに沿って研究・調査を行い、研究発表を行った。発表テーマと発表者は次の通り。

○「教学をどう捉えるか―現代化のために―」

岩田親靜師

○「寺庭婦人としての立場における如来使の自覚」

延本妙泉師

○「顕正会会館の調査報告」

小瀬修達師

○「現代人の御朱印巡り行動と宗教意識についての研究」

津幡法胤師

○「科学と仏教の間―疑似科学を題材として―」

蓮見高円師

○「法華經にみる經典説誦」

吉木祥介師

○「経済格差と教育機会」

鶏内泰寛師

○「年表作成について」

山口功倫師

○「過疎地域寺院活性へ向けた取り組み―その先行事例（社会包括性）から今後の取り組みを学ぶ―」

齋藤宣裕師

○「子どもの貧困問題について」

鈴木是妙師

○「近代日蓮宗における「御降誕」事業の研究①―大正十年「聖誕七〇〇年」の一考察―」

池浦英晃師

地調査を行った。

○「宗門シンクタンクとしての現宗研」原一彰師

●十一月二十四日～二十六日、平成二十七年度研究

○「インターネット経由による僧侶派遣の実情と

員現地調査を行った。

展望について」

藤崎善隆師

### 3、出版・資料収集

○「災害復興とソーシャルキャピタル・宗教の役

【1】「現代宗教研究」第五十号を編集し、配付予定。

割―震災復興に宗教がソーシャル・キャピタ

【2】教団史研究資料の一つとして、各種資料より「平

ルとして機能するのか―」

小林康洋師

成二十六年日蓮宗年表」を作成し、配布予定。

○「他宗派による海外布教事情を探る」

川口智徳師

【3】「現代宗教研究」別冊として、「教化学研究7」を

作成し、配付予定。

○「宗学について―大正末期から昭和初期を中

【4】新宗教関係資料を収集し、保管した。

心―」

古河良啓師

【5】各種伝道教化に関する資料を収集し、保管した。

### 【4】現地調査

【6】伝道・教化・研究に必要な図書を購入した。

●六月九日～十日、鹿児島県鹿屋・知覧に於いて、

【7】今年度購入・寄贈図書のコンピュータ管理のため

現地調査を行った。

の蔵書整理とデータ作成を行った。

●六月二十六日、東京都横田基地に於いて、現地調

### 4、研究交流・会議

査を行った。

【1】五月十六日、大正大学に於いて、「日本近代仏教

●七月二日、山梨県石橋湛山記念館に於いて、現地

史研究会 第二十三回研究大会」が開催され、出

調査を行った。

席した。

●七月三十日、東京都東洋経済新報社に於いて、現

【2】五月二十五日、宗務院に於いて、「教団付置研究

所懇話会 第十四回年次大会」第二回実行委員会」が開催された。

【3】六月一日、東京グランドホテルに於いて、「全国青少年教化協議会 第三十九回正力松太郎賞表彰式・祝賀会」が開催され、出席した。

【4】六月十四日、高野山大学に於いて、「佐々井秀嶺講演会」が開催され、出席した。

【5】六月二十三日、宗務院に於いて、「教区教研連絡会議」を開催した。各教区教研の前年度運営委員代表と本年度運営委員代表、及び次年度運営委員代表が出席して、前年度の報告と本年度の計画を聞き、教研会議運営について話し合った。

【6】六月二十四日、宗務院に於いて、「教化センター連絡会議」を開催した。会議では、各センター発行の布教・教化・伝道資料の交換が行われるとともに、センター運営に関する問題点と各センター間の交流推進について話し合った。

【7】七月一日、東京ビッグサイトに於いて、「第二十回 東京国際ブックフェア」が開催され、参加

した。

【8】七月二十九日、宗務院に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十四回年次大会」第三回実行委員会」が開催された。

【9】八月二十九日、立正大学に於いて、「日本脱カルト教会 創立二十周年記念公開講演会」が開催され、出席した。

【10】九月五日～六日、創価大学に於いて、「日本宗教学会 第七十四回学術大会」が開催され、出席した。

【11】九月十五日、港区仏教伝道センタービルに於いて、「葬式仏教価値向上委員会 第八回研究会」が開催され、出席した。

【12】九月十九日～二十日、高野山大学に於いて、「日本印度学仏教学会 第六十六回学術大会」が開催され、出席した。

【13】十月十日、インド大使館に於いて、「中村元東方研究所 記念講演会・第二十五回中村元東方学術賞授賞式」が開催され、出席した。

- 【14】十月十一日、淑徳大学に於いて、「日本仏教社会福祉学会 第五十回大会」が開催され、出席した。
- 【15】十月二十日、宗務院に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十四回年次大会」が日蓮宗現代宗教研究所所当番にて開催された。
- 【16】十月二十八日～二十九日、曹洞宗檀信徒会館に於いて、「曹洞宗総合研究センター 第十七回学術大会」が開催され、出席した。
- 【17】十月二十九日、杉並区セレニティーホールに於いて、「新日本宗教団体連合会・信教の自由委員会 第四回現代社会と信教の自由公開講座」が開催され、出席した。
- 【18】十月二十九日、新宿常圓寺に於いて、「天台本覚思想史 公開講座」が開催され、出席した。
- 【19】十一月二十一日、東洋英和女学院大学大学院に於いて、「生と死」研究会 第十四回例会」が開催され、出席した。
- 【20】十一月二十八日、國學院大学に於いて、「第六回宗教と環境シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【21】十二月四日、千代田区都道府県会館に於いて、文化庁文化部宗務課主催「不活動宗教法人対策会議」が開催され、出席した。
- 【22】十二月八日～十日、東京ビッグサイトに於いて、「エンディング産業展二〇一五」が開催され、参加した。
- 【23】十二月十二日、立正大学に於いて、「第三回石橋湛山研究会」が開催され、出席した。
- 【24】十二月十六日、港区仏教伝道センタービルに於いて、「葬式仏教価値向上委員会 第九回研究会」が開催され、出席した。
- 【25】平成二十八年一月二十八日、中山身語正宗瀧光徳寺に於いて、「教団付置研究所懇話会 第十五回年次大会」第一回実行委員会」が開催され、出席した。
- 【26】二月二十日、大阪国際大学に於いて、「(公財) 国際宗教研究所 公開シンポジウム」が開催され、出席した。
- 【27】二月二十日～二十一日、東京都青山葬儀所に於いて、

て、「東北大学宗教学研究室 公開シンポジウム」が開催され、出席した。

【28】三月九日、キャンパスプラザ京都に於いて、「第二十九回法華宗教学研究発表大会」が開催され、出席した。

【29】三月二十六日、京都大学に於いて、「宗教哲学会 第八回学術大会」が開催され、出席した。

## 5、講演

【1】秋田県教師研修会

平成二十七年六月二十五日開催

秋田ビューホテル

講演「人口減少時代の宗門と秋田」

池浦英晃（現代宗教研究所研究員）、原一彰（現代宗教研究所研究員）

【2】身延山大学仏教学部講義

平成二十七年十一月十七日開催 身延山大学

講演「日蓮宗の現状と課題」

櫻井義久（現代宗教研究所主任）